

# 地域密着の土地活用に尽力

豊田市柿本町の深津産業。土地活用、不動産業務をメインに相続鑑定や遺品整理なども担うが、3代目の深津栄一さん(34)は「地域の生活に密着した循環型の土地活用を展開し、コミュニティ単位のみちづくりに貢献したい」と力を込める。同社は豊田IC周辺にくつかの不動産を所有。駐車場管理や倉庫業はじめ、自動車メーカー、販売店などに土地を提供する。一方、地域に根ざした土地活用に

## 深津栄一さん 3代目 不動産業 展開も 相続相談

最も力を入れており、ドラッグストアや病院なども誘致。高齢化を見据えたまちづくりの一翼を担う。

深津さんの祖父が1970年に同社を立ち上げたが、祖父は安城市の庄屋で生まれ育ち、戦後の農地改革で

豊田に向いた。当時は牛を引き連れて農地を切り拓くのが一般的だったが、米

地元金融機関に就職。8年間、相続相談や金融、共済の営業を担当した。祖母が他界したのを機に2013

年、家業に参画した。新たに力を注いでいるのが相続相談。金融機関で経験したことを伝えたいと考

えるセミナーを開いている。また相続税を提出した後でも5年以内なら修正できるため、土地評価の洗い直しも買って出る。

え、豊田で初めて相続専門の不動産業を打ち出した。相続には膨大な手続きが必要な反面、相続税の納付期限は被相続人が亡くなった翌日から10カ月以内。深津さんによると、相続税を払うための現金を持ち合わせ

このほか、遺品整理士や生前整理アドバイザー、賃貸不動産経営管理士の資格も保有。協会に属する中でタイムリーな情報を提供する。「相続に関する相談から土地売却まですべて請け負うことのできるのが弊社の強み。住民の生活に足りない施設を誘致したり、企業と地主の橋渡しも行い、地域コミュニティのモデルケースをつくり上げたい」と



豊田

わが街わが人

まちづくり

くないという。昨年10月に相続鑑定士の資格を取得。自ら講師を務め、生前整理の必要性を訴

意気込む。【九郎田宏之】